

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 28 年 3 月 24 日 (2016.3.24)

【公表番号】特表 2015-513857 (P2015-513857A)

【公表日】平成 27 年 5 月 14 日 (2015.5.14)

【年通号数】公開・登録公報 2015-032

【出願番号】特願 2014-560052 (P2014-560052)

【国際特許分類】

H 0 4 W 48/16 (2009.01)

H 0 4 W 8/00 (2009.01)

H 0 4 W 84/10 (2009.01)

H 0 4 W 84/12 (2009.01)

H 0 4 W 92/08 (2009.01)

H 0 4 M 1/00 (2006.01)

H 0 4 W 48/18 (2009.01)

【F I】

H 0 4 W 48/16 1 3 0

H 0 4 W 8/00 1 1 0

H 0 4 W 84/10 1 1 0

H 0 4 W 84/12

H 0 4 W 92/08 1 1 0

H 0 4 M 1/00 R

H 0 4 W 48/18 1 1 3

【手続補正書】

【提出日】平成 28 年 2 月 2 日 (2016.2.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ユーザ機器、UE、を接続するための方法であって、
前記 UE との異なるデバイスの接続を監視することと、
異なるデバイスとの対話および接続に関する履歴情報を取得するために時間をかけて前記異なるデバイスの前記接続を相関付けることと、

前記相関に基づいて、モバイルコンピューティング環境、MCE、を決定することと、
前記 MCE と関連付けられる情報を記憶することとを備える、方法。

【請求項 2】

前記異なるデバイスの少なくとも 1 つの識別に基づいて、既知の MCE を自動的に検出することと、

前記記憶された情報に基づいて、前記異なるデバイスの 1 つまたは複数との接続を自動的に再確立して、前記 MCE を再確立することとをさらに備える、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記再確立された MCE に基づいて、前記 UE 上の少なくとも 1 つの RF デバイスを無効にすることをさらに備える、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記異なるデバイスの少なくとも1つの前記識別が、前記異なるデバイスのMACアドレス、デバイスID、ブルートゥース(登録商標)デバイスアドレス、ネットワークSSID、IPアドレス、またはセルタワーアドレスに基づく、請求項2に記載の方法。

【請求項5】

前記関連付けることが、

前記異なるデバイスとの前記接続に関する履歴情報を取得することをさらに備える、請求項1に記載の方法。

【請求項6】

前記異なるデバイスの少なくとも2つが、前記異なるデバイスの別のデバイスとは異なるワイヤレス技術を使用して前記UEと通信する、請求項1に記載の方法。

【請求項7】

GPS位置および/または他の位置ベースのサービスに基づいて前記MCEを決定することをさらに備える、請求項1に記載の方法。

【請求項8】

ユーザ機器、UEを接続するための装置であって、

前記UEとの異なるデバイスの接続を監視するための手段と、

異なるデバイスとの対話および接続に関する履歴情報を取得するために時間をかけて前記異なるデバイスの前記接続を関連付けるための手段と、

前記関連に基づいて、モバイルコンピューティング環境、MCE、を決定するための手段と、

前記MCEと関連付けられる情報を記憶するための手段とを備える、装置。

【請求項9】

前記異なるデバイスの少なくとも1つの識別に基づいて、既知のMCEを自動的に検出するための手段と、

前記記憶された情報に基づいて、前記異なるデバイスの1つまたは複数との接続を自動的に再確立して、前記MCEを再確立するための手段とをさらに備える、請求項8に記載の装置。

【請求項10】

前記再確立されたMCEに基づいて、前記UE上の少なくとも1つのRFデバイスを無効にするための手段をさらに備える、請求項9に記載の装置。

【請求項11】

前記異なるデバイスの少なくとも1つの前記識別が、前記異なるデバイスのMACアドレス、デバイスID、ブルートゥースデバイスアドレス、ネットワークSSID、IPアドレス、またはセルタワーアドレスに基づく、請求項9に記載の装置。

【請求項12】

関連付けるための前記手段が、

前記異なるデバイスとの前記接続に関する履歴情報を取得するための手段を備える、請求項8に記載の装置。

【請求項13】

前記異なるデバイスの少なくとも2つが、前記異なるデバイスの別のデバイスとは異なるワイヤレス技術を使用して前記UEと通信する、請求項8に記載の装置。

【請求項14】

GPS位置および/または他の位置ベースのサービスに基づいて前記MCEを決定するための手段をさらに備える、請求項8に記載の装置。

【請求項15】

請求項1乃至7のうちの任意の1つにしたがってコンピュータに方法を実行させる命令を記憶した、コンピュータ可読記憶媒体。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0081

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0081】

[0090] 上記の開示は本発明の例示的な実施形態を示すが、添付の特許請求の範囲によって規定される本発明の範囲から逸脱することなく本明細書において異なる変更および修正が行われ得ることに留意されたい。本明細書で説明された本発明の実施形態による方法クレームの機能、ステップおよび/または動作は、特定の順序で実行される必要はない。さらに、本発明の要素は、単数形で説明または特許請求されていることがあるが、単数形に限定することが明示的に述べられていない限り、複数形が企図される。

以下に、本願出願の当初の特許請求の範囲に記載された発明を付記する。

[C 1] ユーザ機器 (UE) を接続するための方法であって、

前記 UE との異なるデバイスの接続を監視することと、

前記異なるデバイスの前記接続を相関付けることと、

前記相関に基づいて、モバイルコンピューティング環境 (MCE) を決定することと、

前記 MCE と関連付けられる情報を記憶することとを備える、方法。

[C 2] 前記異なるデバイスの少なくとも 1 つの識別に基づいて、既知の MCE を自動的に検出することと、

前記記憶された情報に基づいて、前記異なるデバイスの 1 つまたは複数との接続を自動的に再確立して、前記 MCE を再確立することとをさらに備える、C 1 に記載の方法。

[C 3] 前記再確立された MCE に基づいて、前記 UE 上の少なくとも 1 つの RF デバイスを無効にすることをさらに備える、C 2 に記載の方法。

[C 4] 前記異なるデバイスの少なくとも 1 つの前記識別が、前記異なるデバイスの MAC アドレス、デバイス ID、ブルートゥースデバイスアドレス、ネットワーク SSID、IP アドレス、またはセルタワーアドレスに基づく、C 2 に記載の方法。

[C 5] 前記相関付けることが、

前記異なるデバイスとの前記接続に関する履歴情報を取得することをさらに備える、C 1 に記載の方法。

[C 6] 前記異なるデバイスの少なくとも 2 つが、前記異なるデバイスの別のデバイスとは異なるワイヤレス技術を使用して前記 UE と通信する、C 1 に記載の方法。

[C 7] GPS 位置および/または他の位置ベースのサービスに基づいて前記 MCE を決定することをさらに備える、C 1 に記載の方法。

[C 8] ユーザ機器 (UE) であって、

前記 UE との異なるデバイスの接続を監視するように構成される論理回路と、

前記異なるデバイスの前記接続を相関付けるように構成される論理回路と、

前記相関に基づいて、モバイルコンピューティング環境 (MCE) を決定するように構成される論理回路と、

前記 MCE と関連付けられる情報を記憶するように構成されるメモリとを備える、ユーザ機器 (UE) 。

[C 9] 前記異なるデバイスの少なくとも 1 つの識別に基づいて、既知の MCE を自動的に検出するように構成される論理回路と、

前記記憶された情報に基づいて、前記異なるデバイスの 1 つまたは複数との接続を自動的に再確立して、前記 MCE を再確立するように構成される論理回路とをさらに備える、C 8 に記載の UE 。

[C 10] 前記再確立された MCE に基づいて、前記 UE 上の少なくとも 1 つの RF デバイスを無効にするように構成される論理回路をさらに備える、C 9 に記載の UE 。

[C 11] 前記異なるデバイスの少なくとも 1 つの前記識別が、前記異なるデバイスの MAC アドレス、デバイス ID、ブルートゥースデバイスアドレス、ネットワーク SSID、IP アドレス、またはセルタワーアドレスに基づく、C 9 に記載の UE 。

[C 12] 前記相関付ける論理回路が、

前記異なるデバイスとの前記接続に関する履歴情報を取得するように構成される論理回

路を備える、C 8 に記載の U E。

[C 1 3] 前記異なるデバイスの少なくとも 2 つが、前記異なるデバイスの別のデバイスとは異なるワイヤレス技術を使用して前記 U E と通信する、C 8 に記載の U E。

[C 1 4] G P S 位置および / または他の位置ベースのサービスに基づいて前記 M C E を決定するように構成される論理回路をさらに備える、C 8 に記載の U E。

[C 1 5] ユーザ機器 (U E) を接続するための装置であって、
前記 U E との異なるデバイスの接続を監視するための手段と、
前記異なるデバイスの前記接続を相関付けるための手段と、
前記相関に基づいて、モバイルコンピューティング環境 (M C E) を決定するための手段と、

前記 M C E と関連付けられる情報を記憶するための手段とを備える、装置。

[C 1 6] 前記異なるデバイスの少なくとも 1 つの識別に基づいて、既知の M C E を自動的に検出するための手段と、

前記記憶された情報に基づいて、前記異なるデバイスの 1 つまたは複数との接続を自動的に再確立して、前記 M C E を再確立するための手段とをさらに備える、C 1 5 に記載の装置。

[C 1 7] 前記再確立された M C E に基づいて、前記 U E 上の少なくとも 1 つの R F デバイスを無効にするための手段をさらに備える、C 1 6 に記載の装置。

[C 1 8] 前記異なるデバイスの少なくとも 1 つの前記識別が、前記異なるデバイスの M A C アドレス、デバイス I D、ブルートゥースデバイスアドレス、ネットワーク S S I D、I P アドレス、またはセルタワアドレスに基づく、C 1 6 に記載の装置。

[C 1 9] 相関付けるための前記手段が、
前記異なるデバイスとの前記接続に関する履歴情報を取得するための手段を備える、C 1 5 に記載の装置。

[C 2 0] 前記異なるデバイスの少なくとも 2 つが、前記異なるデバイスの別のデバイスとは異なるワイヤレス技術を使用して前記 U E と通信する、C 1 5 に記載の装置。

[C 2 1] G P S 位置および / または他の位置ベースのサービスに基づいて前記 M C E を決定するための手段をさらに備える、C 1 5 に記載の装置。

[C 2 2] 少なくとも 1 つのプロセッサによって実行されると、前記少なくとも 1 つのプロセッサにユーザ機器 (U E) を接続するための動作を実行させる、記憶された命令を含む非一時的コンピュータ可読記憶媒体であって、前記命令が、
前記 U E との異なるデバイスの接続を監視するための命令と、
前記異なるデバイスの前記接続を相関付けるための命令と、
前記相関に基づいて、モバイルコンピューティング環境 (M C E) を決定するための命令と、

前記 M C E と関連付けられる情報を記憶するための命令とを備える、非一時的コンピュータ可読記憶媒体。

[C 2 3] 前記異なるデバイスの少なくとも 1 つの識別に基づいて、既知の M C E を自動的に検出するための命令と、

前記記憶された情報に基づいて、前記異なるデバイスの 1 つまたは複数との接続を自動的に再確立して、前記 M C E を再確立するための命令とをさらに備える、C 2 2 に記載の非一時的コンピュータ可読記憶媒体。

[C 2 4] 前記再確立された M C E に基づいて、前記 U E 上の少なくとも 1 つの R F デバイスを無効にするための命令をさらに備える、C 2 3 に記載の非一時的コンピュータ可読記憶媒体。

[C 2 5] 相関付けるための前記命令が、
前記異なるデバイスとの対話および前記接続に関する履歴情報を取得するための命令を備える、C 2 2 に記載の非一時的コンピュータ可読記憶媒体。

[C 2 6] G P S 位置および / または他の位置ベースのサービスに基づいて前記 M C E を決定するための命令をさらに備える、C 2 2 に記載の非一時的コンピュータ可読記憶媒

体。